

令和8年度インフラDX・i-Constructionセミナーを開催！

～i-Construction2.0・建設業のICT活用事例を紹介！セミナー参加者募集！～

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、働き方改革の実現と、生産性向上に向けた取組として、データとデジタル技術を活用し、現場の安全性や効率性向上を図る、インフラ分野のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進しています。

この度、インフラDX・i-Constructionの更なる推進のため、北海道内の建設業、測量・設計業関係者、地方公共団体職員等を対象とする「インフラDX・i-Constructionセミナー」を開催します。本セミナーでは、国土交通省 大臣官房 技術調査課 参事官(イノベーション)グループの菊田施工自動化企画官に「i-Construction2.0の取組」について講演いただきます。

また、令和7年度「北海道開発局i-Con奨励賞」受賞工事の施工者から、ICT活用工事の優良事例を紹介いただきます。北海道開発局では、こうした優良事例の共有を通じて、北海道内の建設現場へ広く展開していき、働き方改革や生産性向上につなげる取組を進めていきます。

【インフラDX・i-Constructionセミナー概要】

- 開催日時 令和8年6月24日(水) 14:00～16:30
- 開催方法 ハイブリッド方式(対面・Web(Zoom)によるオンライン配信)
- 開催内容 別紙のとおり
- 定員 対面50名、オンライン1,000名(参加費無料・事前申込制)
※定員となり次第、募集を締め切りますので、あらかじめご了承ください。
- 申込方法 別紙【セミナーお申込み方法】にあるURL、または二次元コードからお願いします。
- 申込期限 令和8年6月17日(水)
- 取材 Web配信会場(ACU札幌 1206室)にて取材を希望される報道関係者の方は、令和8年6月17日(水)12:00までに「会社名」「氏名」「連絡先」を下記アドレス宛てに送付をお願いします。
【送付先】hkd-ky-ict_kikai(at)gxb.mlit.go.jp ※(at)を@に置き換えて下さい。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 機械課 建設情報・施工高度化推進官 林 朋幸(内線5394)

上席専門官 小笠原 敦司(内線5634)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



インフラDX・

i-Constructionセミナー

2026.6.24 ◆水◆ 14:00 ▶ 16:30

対面・オンライン
ハイブリット開催

参加費無料

定員： 対面 50名
オンライン 1000名

開催場所（開催方式）

対面方式：ACU札幌 1206室（札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12F）

オンライン方式：ZOOMを使用したオンライン講習

セミナーお申込み方法

申込期限：令和8年6月17日（水） ※定員に達し次第、締め切り

以下URL又はQRコードから登録フォームに入り、記載内容をよくお読みのうえ申込願います。

対面方式

<https://forms.office.com/r/jUqBq4JBxb>

オンライン方式

https://us06web.zoom.us/meeting/register/F60Xs_OAR3ORFqDgwS5jIw

※参加方法により申込先が異なります。ご注意ください。

※上記、登録フォームにご登録いただいたメールアドレスへ、登録結果を返信いたします。

※メールはZOOM社(ウェブ)、Microsoft社(対面)のシステムから自動送信機能によりお送りしています。

※オンライン方式の場合、『イベントに参加する』の箇所に当日のウェビナー参加用のURLが
ございます。

※ご提供いただく個人情報、本件の目的の範囲内に限り利用し、他の目的には使用いたしません。

※本セミナーは、全国土木施工管理技士会連合会による継続学習制度（CPDS）の認定講習です。

開催場所（対面方式）

ACU札幌 1206室（札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12F）

最寄り駅：札幌駅



・「JR札幌駅南口」から徒歩約5分です。

・駐車場（会議研修施設アキュ）

<https://www.acu-h.jp/sapporo/parking>
を参照下さい。（有料）

又は最寄りの有料駐車場をご利用ください。

ACU札幌HPより（https://www.acu-h.jp/sapporo/koutsu_access）

セミナー内容 【14:00～16:30】

- 対面聴講 : 開始30分前より受付開始
オンライン聴講 : 開始30分前ウェブ入室可能

<開催挨拶> 北海道開発局 事業振興部 部長 岡下淳

<情報提供> 「i-Construction2.0の取組」

（国土交通省 大臣官房 技術調査課 参事官（イノベーション）グループ
施工自動化企画官 菊田 一行）

<ICT活用工事事例の紹介>

1. 石狩湾新港 ー 12m岸壁工事（小樽開発建設部）
【R7i-Con奨励賞】 （株）吉本組
2. 一般国道274号 鹿追町 笹川防雪柵設置工事（帯広開発建設部）
【R7i-Con奨励賞】 藤原工業（株）
3. 一般国道12号 砂川市 砂川道路維持除雪外一連工事（札幌開発建設部）
【R7i-Con奨励賞】 （株）泰進建設
4. 旭東地区 上流幹線60農区用水路工事（旭川開発建設部）
【R7i-Con奨励賞】 新谷建設（株）
5. 十勝川改修工事の内 大森第1樋門上流河道掘削工事（帯広開発建設部）
【R7i-Con奨励賞】 徳井建設工業（株）

継続学習

全国土木施工管理技士会連合会による継続学習制度（CPDS）の認定講習会 『2unit』

- ・対面方式 : 終了後に手渡しで受講証明書を授与 ※身分証明書を拝見します。
※受講証明は、参加者ご自身によるCPDSシステムの「自己登録」をお願いいたします。
- ・オンライン方式 : 事務局が全国土木施工管理技士会連合会のCPDSに代行申請します。自己登録不要。

CPDの単位取得までの流れ

お申込み

登録フォームで必ずCPDSの希望にチェックを入れてください。

※オンライン方式で受講する場合は、CPDSの登録番号も記入してください。

※登録期限後は申請を受け付けることができません。

当日

オンライン方式で受講する場合は、CPDSの発給要件となりますので、必ず、表示名をご本人様のお名前にし、カメラをオンにしてご参加ください。

セミナー終了後

対面方式の場合：お帰りの際に、顔写真付きの身分証明書をご持参のうえ受付にお声がけください。受講証明書をお渡しします。

オンライン方式の場合：事務局が、事前にCPDSをご希望されていた方の受講確認を行い、受講確認がとれた方については、CPDS代行申請を行います。自己登録は不要です。

登録

対面方式で受講する場合は、参加者ご自身によるCPDSシステムの「自己登録」をお願いいたします。

主な対象者

施工会社

建設コンサルタント・測量会社

経験者

■ ICT活用工事講習会 (ICT施工管理編) (実習)

【対象者】ICT機器の機能を概ね理解しており、実際の活用方法を知りたい方

【内容】

- ・ICT活用工事の施工・施工管理の一連の作業を実習形式で学ぶ
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



■ 3Dデータ活用講習会 (実習 (PCを使ったハンズオン形式))

【対象者】ICT建機に入力する3次元設計データや出来形管理資料（ヒートマップ）作成の基本操作を学びたい方

【内容】

- ・3Dデータ(BIM/CIMモデルや3次元設計、点群)の基本的な取扱方法を、PCを用いてハンズオン形式で実習
- ・ハンズオン実習内容：3次元設計データの作成、3次元点群データの処理、3次元設計データと点群データの重ね合わせ・土量算出、出来形管理資料（ヒートマップ）作成



■ インフラDX・i-Constructionセミナー (対面・WEB併用)

【対象者】ICT活用講習会 (Web) 等でICT活用工事の概要を理解している方

【内容】

- ・今年度の国交省のICT関連施策の概要を説明
- ・トップランナー企業によるICTを効果的に活用した現場実例の紹介



【ステップアップ】

より詳しくICT活用工事での活用方法を知りたい。

初心者 (ICT施工未経験者等)

■ ICT活用工事講習会 (ICT機器操作編) (実習)

【対象者】ICTの実機に触れて操作を学びたい方

【内容】

- ・ICT活用工事や「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」についての概要を講習
- ・ICT機器の基本的な操作方法を実機を使いながら講習
- ・使用機器：レーザースキャナ、TS、UAV、GNSS、モバイル端末、点群処理ソフト、MGバックホウ（小規模）・MGバックホウ（中・大規模）



【ステップアップ】

ICT機器を実際に操作してみたい。

【ステップアップ】

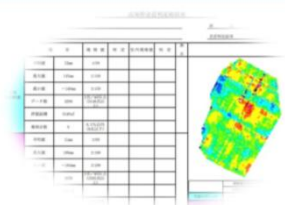
3次元設計データ作成の部分より詳しく学びたい。

■ ICTデータ活用講習会 (WEB講習)

【対象者】これからICT活用工事の実施をご検討中の方

【内容】

- ・ICT活用工事の基礎知識と、施工・出来形管理に使えるICTの基礎知識
- ・要望の高い工種について、ICT技術の活用方法を具体的に紹介
- ・3Dデータ作成・納品データ作成方法をデモ



ICTへの習熟度

